

中央大学 会計人会 会報

発行所 中央大学会計人会

〒116-0003 東京都荒川区南千住5-25-14

税理士法人 荻野会計事務所内

<http://chudai-kaikeijin.jp>

発行人 会長 荻野 弘康



会長 荻野 弘康

はじめに

6月21日、第56回の定期総会無事終了いたしました。

会員の皆様、役員各位の暖かいご支援に心より御礼申し上げます。

役員改選に際し、役員検討会（座長 岩本一志）にて種々検討され、当職の再任が総会に提案され、可決承認されました。

まことに恐縮ですが、会員、役員の皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

— 会計会の歴史

当会は昭和36年に設立され、今時に56回目の総会を迎えました。

有効会計会の駿台会計人倶楽部とは、毎年4月1日に共同で研修会、観桜会を行い今年で41回目を迎えました。

（多くの友好会計人会にもご参加いただいております。）

士業には、国家、国民生活、経済状況等を踏まえそれぞれ多くの歴史的経緯があります。会計人会では、計理士（昭和2年3月）、税務代理士（昭和17年2

月)、税理士(昭和26年6月)、公認会計士(昭和23年8月)に制度化され、その後時代、業務環境の変化等により、幾たびか改正がなされ、現在は、税理士、公認会計士制度により職業的専門化が整備されつつあります。(計理士は当人存命中は継続が認められています)

当会は、これらの歴史的な経緯を持ち、関係各位によって支持、継続されている団体であります。

現行法では、税理士は税理士法(税理士の使命 第1条)「税理士は税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。」と規定されるとともに、税理士の業務(第2条)として税務代理、税務書類作成、税務相談、会計業務等が規定されている。

公認会計士は、同法第1条(職責 使命)、第2条(業務)に明確に規定されている。

***実践税理士法(坂田純一)参照

— 業界が抱える課題を進化につなげよう

監査業界では、東芝問題がなかなか解決しない状況にある。

監査法人が交代した株主総会までに監査報告書は出ないのである。東芝はもとより、監査法人への損害賠償訴訟も提起されている。

また、債務整理のための半導体部門の売却にも米国の監督官庁から停止命令が出されており、前途はなかなか見通せない状況にあるといっても過言ではない。

税務関連では、パナマ文書を巡る税逃れやら時折巨額の脱税も事案が報じられ

ている。それぞれの抱える案件は難問を抱えているが、士業は士業の利益のためにあるのではなく、それぞれが業務と真摯に向き合い、職責、使命を果たし、国民の負託に応えなければならないのである。

相互に情報交換をしながらピンチをチャンスにしなければならないと思います。

— AIの有効活用しよう

AI進化には素晴らしいものがたくさんあります。AIでつぶれる、無くなる士業などと周辺情報が流されていますが、業務周辺のソフトやツールの進化は積極的に業務に取り入れていくことこそが肝要な対策だと思います。

AIソフトに囲碁の世界チャンピオンが敗れたりしてますが、また、将棋界では14歳の藤井聡大君がプロ入り29連勝し、日本中がわいています。

中央大学珠算研究会(白珠会)では、10月8日に第34回全国高等学校珠算大会を行います。会計人会の原点はソロバンと簿記ですよ。原点を大切にしましょう。

バイクは人間より遙かに速いが、オリンピックは無くなるのですか。そんなことはあり得ないのです。ソフトやツールの進化は大歓迎ですが、人間は人間として進化しなければならないのです。

AIやソフト、ツールを使いこなすのが士業の責務です。

業務に取り入れて、業務改善を図り、職責使命を果たしましょう。

○善玉

監査法人もそれぞれ(AI)を業務に

取り入れ、不正会計の摘発に活用を始めている。税理士界では税法データベース（タインズ）に、税務情報（判例、裁判事例、関連情報）の収集と即時検索に活用している。昭和59-12-01開始）

税務申告では、電子申告、納税等に活用されている。税務相談の対応にも検討中。

×悪玉
振り込め詐欺から、ノロウイルスによるシステム、情報等の破壊、大規模なサイ

バー攻撃等。

●危険弾

中国のノーベル賞受賞の劉 曉波氏が亡くなられたが、中国政府からは（国家転覆陰謀罪）で懲役11年の留置中であつた。

民主国家への強い変革を求めた罪科としてはとうてい理解できない――

国民の思想、信条等の監視、監督に（AI）などを使うものはもってのほかである。

平成28年度 定期総会報告

副会長 石亀 邦俊

去る平成29年6月21日（水）中央大学駿河台記念館にて平成28年度（56回）定時総会が開催されました。

定期総会の議案の審議内容は下記に記載の通りであります。

恒例によって定時総会の前に理事会が開催され、そのあとに、第1部として平成28年度（第56回）定期総会が開催され、第2部では、平川忠雄当会顧問による「平成29年度税制改正の実務対応とその改正事項の徹底解説」と題してのご講演をいただきました。

そして第3部の定時総会後の懇親会には、ご来賓として、中央大学経理研究所所長の上野清貴様をはじめ大学関係者、友好大学会計人会からは多くの役員の方々の参加を賜り、盛大に行われました。

会員各位の温かいご支援に感謝を申し上げます。

I. 平成28年度事業報告

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

1 会議等

(1) 平成27年度 定時総会

平成28年6月17日

中央大学駿河台記念館

第一部 定期総会

事業報告、収支報告、事業計画、収支予算

第二部 研修会

テーマ：『平成28年度 税制改正の留意点』

講師：当会顧問・税理士 平川忠雄先生

第三部 懇親会

(2) 正副会長会・理事会

中央大学駿河台記念館

平成28年2月26日

平成28年6月17日

平成28年9月14日

平成28年11月28日

2 広報活動

①中央大学会計人会会報第20号発行

(平成28年7月20日)

②中央大学会計人会会報第21号発行
(平成28年10月25日)

3 組織活動

六大学会計人会ゴルフコンペ
平成28年10月3日

よみうりゴルフ倶楽部

中央大学会計人会 団体準優勝

個人 吉田英一理事 優勝

4 大学・大学学員会関係

①大学事業の支援

平成28年10月23日 第25回中央大学
ホームカミング
デーに団体参加

②大学評議会出席

平成28年5月20日 全国支部長会議
平成28年5月21日 定時評議会
平成28年5月23日 法曹会常任理事会
平成28年5月30日 商議員会

③その他

平成28年9月14日 中央法曹会との合
同研修会

5 他団体関係

①友好会計人会総会等出席

平成28年7月5日 神奈川大学会計人
宮陵会総会
平成28年7月8日 青学会計人クラブ
総会
平成28年7月9日 税理士稲門会総会
平成28年7月22日 専修大学会計人会
総会
平成28年7月23日 税理士三田会総会
平成28年7月30日 日本大学税理士桜
門会総会
平成28年7月30日 駒沢大学会計人会
総会
平成28年9月24日 法政大学会計人会
総会

平成28年12月3日 日本大学税理士桜
門会忘年会

平成28年12月8日 駿台会計人倶楽部
忘年会

平成28年12月13日 中央大学公認会計
士試験
試験合格者祝賀会

②全国大学会計人会サミット

平成28年10月18日 東京富士大学主催

③観桜会(上野精養軒)

平成28年4月1日 駿台会計人会倶楽
部と共催

④その他

平成28年10月9日 全国高等学校珠算
大会(白珠会)後
援団体に参加

II. 平成28年度 収支報告並びに財産目録

1. 平成28年度 収支報告書(別紙を掲載)
2. 財産目録(別紙を掲載)

III. 平成29年度 事業計画(案)

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

1 会議等

定時総会開催(年1回)

中央大学駿河台記念館

理事会開催(年3~4回) 同

正副会長会(年3~4回) 同

常任理事会(年3~4回) 同

2 会員活動

①日本税理士会連合会機関紙「税理士
界」広告

②東京税理士会機関紙「東京税理士界」
広告

③中央大学学員会「学員時報」広告

④CPA会員名簿による直接入会のすすめ

⑤新会員名簿整理及び管理

⑥中央大学会計人会 会報発行（年2回予定）

⑦中大OB・財務省・国税庁OBによる研修会

⑧ホームページ運用・管理

3 大学・大学学員会

①幹事会その他の出席

②評議会出席

③大学学員会他支部出席

④第26回ホームカミングデー（多摩キャンパス）に参加

4 他団体関係

①他大学会計人会出席

②全国大学会計人会サミット出席（成蹊大学）

IV. 平成29年度 収支予算（案）

（別紙掲載）

V. 役員改選について

役員改選につきましては、会則7条第2項では、「会長・監事は総会において会員の中から選任し、その任期は2年とする。」とあります。

次期役員につきましては、「役員選考検討会」にて、検討し、次期会長には荻野弘康（再任）・監事には佐藤博司（再任）・小森輝於（再任）の推挙を受け、理事会にて承認され、定時総会の議決事項として提案されました。全会一致にて承認可決されました。

VI. 会則改正について

会則第2章 会員

（現行）

第4条 本会は、中央大学学員であって、公認会計士（公認会計士試験合格者及び旧会計士補を含む）・税理士・計理士であり職業専門家として会計及び税務業務を行っている者をもって組織する。

（改正）

第4条 ①本会は、中央大学学員であって、公認会計士（公認会計士試験合格者及び旧会計士補を含む）・税理士・計理士であり職業専門家として会計及び税務業務を行っている者をもって組織する。

②本学の学生、卒業生で諸外国の類似の資格保有者が、本会への入会を希望した場合には、理事会にて可否を検討することとする。

平成28年度 収支報告

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

中央大学会計人会 【単位：円】

収入の部			
科目	平成28年度予算額	平成27年度決算額	差額
通常会費収入	2,600,000	1,980,000	620,000
支援金収入	630,000	602,000	28,000
親睦会収入	200,000	180,000	20,000
雑収入	500,000	456,000	44,000
利息収入	30,000	1,600	28,400
当年度収入合計	3,960,000	3,219,600	740,400
前期繰越収支差額	17,987,041	17,987,041	
収入合計	21,947,041	21,206,641	740,400

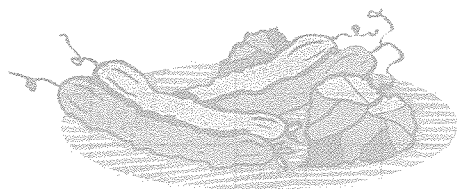
支出の部			
科目	平成27年度予算額	平成27年度決算額	差額
母校支援事業	630,000	425,000	205,000
会場費	650,000	683,596	-33,596
通信費	100,000	54,744	45,256
事務局費	120,000	120,000	0
消耗品費	50,000	0	50,000
会報費	1,100,000	1,032,898	67,102
渉外費 [サミット費]	600,000	467,400	132,600

研修会費	200,000	227,401	-27,401
広告費	100,000	135,000	-35,300
ホームページ費	100,000	0	100,000
雑 費	100,000	25,180	74,820
当年度支出合計	3,750,000	3,171,519	578,481
次期繰越収支差額	18,197,041	18,035,122	161,919
合 計	21,947,041	21,206,641	740,400

収入の部内訳 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

【単位：円】

会費収入		1,980,000
支援金収入		602,000
	合計	2,582,000
親睦会収入	定時総会等	180,000
	合計	180,000
雑収入	定時総会	386,000
	中央大学	70,000
	合計	456,000
受取利息収入	三井住友銀行	234
	みずほ銀行	960
	三菱東京UFJ	6
	郵貯銀行	400
	郵便振替預金	0
	合計	1,600
収入の部合計		3,219,600



財産目録

平成28年12月31日現在

中央大学会計人会

【単位：円】

科目 (内訳)	金額
I 資産の部	0
1 現金	
2 銀行預金等	
①三井住友銀行 上野支店 (普) No.7579585	2,391,847
②みずほ銀行 上野支店 (普) No.4512448	11,221,226
③三菱東京UFJ 中野支店 (普) No.4551431	84,312
④郵貯銀行 No.10020-72193211	4,530,801
⑤郵便振替預金 No.150-6-28490	39,580
3 未収入金	70,000
資産の部合計	18,337,766
II 負債の部 未払金	302,644
差引正味財産有高	18,035,122

会計監査報告書

平成28年度決算につき、平成28年度の事業報告書並びに収支報告書、財産目録及び関係帳簿類等を監査したところ、適法に処理されておりますのでご報告申し上げます。

平成29年 4月18日

監事 佐藤 博司 (印)

監事 小森 輝於 (印)

平成29年度 収支予算書 (案)

平成29年1月1日から平成29年12月31日まで

中央大学会計人会

【単位：円】

収入の部			
科目	平成29年度予算額	平成28年度決算額	差 額
通常会費収入	2,600,000	2,600,000	0
支援金収入	630,000		630,000
親睦会収入	200,000	200,000	0
雑収入	500,000	500,000	0
利息収入	30,000	30,000	
当年度収入合計	3,960,000	3,960,000	0
前期繰越収支差額	18,035,122	17,987,041	
収入合計	21,995,122	21,947,041	

支出の部			
科 目	平成29年度予算額	平成28年度決算額	差 額
母校支援事業	630,000	630,000	0
会場費	650,000	650,000	0
通信費	100,000	100,000	0
事務局費	120,000	120,000	0
消耗品費	50,000	5,000	0
会報費	1,100,000	1,100,000	0
渉外費	600,000	600,000	0
研修会費	200,000	200,000	0
広告費	100,000	100,000	0
ホームページ費	100,000	100,000	0
雑費	100,000	100,000	0
当年度支出合計	3,750,000	3,750,000	0
次期繰越収支差額	18,245,122	18,197,041	
合計	21,995,122	21,947,041	

役 員

●会長

荻野 弘康 (東京)

●副会長 (11名)

大江 晋也 (東京) 小池 正明 (東京)

鈴木 康二 (東京) 鈴木 康雄 (東京)

岩田 克夫 (東京) 石亀 邦俊 (東京)

高畑 公一 (東京) 坂田 純一 (東京)

徳重 寛之 (東京) 岩本 一志 (東京)

太田 賢治 (愛知)

●理事 (21名) (☆は常任理事)

☆荒木 慶幸 (日本橋)

☆八木沢秀夫 (足立) ☆宮本 雄司 (本所)

☆吉田 英一 (荏原) ☆若宮 正英 (王子)

☆木村 正二 (荒川) ☆根岸 克巳 (荒川)

☆安田 京子 (日本橋)

小野 浩道 (渋谷) 一ノ瀬由明 (品川)

大藤 淑子 (立川) 大野 哲 (板橋)

大谷 義幸 (大森) 松本 憲人 (神田)

平川 茂 (神田) 佐久間 淳 (中野)

新居 之昌 (麻布) 冨田 光彦 (渋谷)

塩沢 靖典 (中野) 平山 光洋 (中野)

小林 孝治 (本所)

●会計監査 (2名)

佐藤 博司 (荒川) 小森 輝司 (渋谷)

●顧問 (3名)

富岡 幸雄 (名誉教授)

大淵 博義 (教授)

平川 忠雄 (神田)

●相談役 (8名)

岡崎 和雄 (東京) 小林 勝彦 (埼玉)

山田淳一郎 (東京) 金子 圭賢 (東京)

佐藤 寛 (東京) 松原 弘明 (福岡)

朝倉 文彦 (神奈川) 岩本 俊雄 (熊本)



藍綬褒章 受章御礼

小林 健 彦

平成28年11月、秋の叙勲褒章において税理士功勞により藍綬褒章を頂きました。これも一重に、中央大会計人会 荻野会長先生をはじめ諸先輩皆様のご指導・ご支援の賜物でございます。厚く御礼申し上げます。もとより未熟者でありますので、この受章を契機として“税理士道”の王道を目指して、更に精進してまいる所存です。今後とも変わらぬお付き合いを宜しくお願いいたします。

昭和54年 商学部会計学科卒業

関東信越税理士会会長

日本税理士会連合会副会長等を歴任

本会 相談役

会報第22号のお届けと新年度会費納入のお願い

謹啓、お暑い毎日ですが、お元でご活躍のことと存じます。

4月1日の観桜会（駿台会計人倶楽部と共催）第41回目も平川顧問の改正税法関連の懇切丁寧なご講演と多くの友好会計人会等多数のご来賓共々賑やかな懇親会を行うことが出来ました。

6月21日の第56回定期総会も無事終了いたしました。

秋には、大学サミット、会計人会ゴルフ、本学のホームカミングデイ等多くの行事がありますが、執行部一同鋭意努めたいと思います。

このたび「会報と別冊/小池正明氏の相続税の節税－養子縁組－最高裁判決」が刷了致しましたのでお届け致しますとともに〔平成29年1月1日－29年12月31日〕の会費〔10,000円〕のお振込をお願い申し上げます。

また、会報記載の如く本会のホームページにも登載いたしますので、ご活用下さい。

当会は、中央大学の学会と連絡を密にし、専門家集団として母校の発展に寄与するとともに後進の育成に努めたいと存じます。

会員各位のご支援をお願い致しますとともに、ご健勝をご祈念致します。 敬具

平成29年 7月吉日
中央大学会計人会
会長 荻野 弘康
副会長〔経理担当〕
岩本 一志
理事〔事務局〕
根岸 克己

中央大学会計人会事務局
東京都荒川区南千住5-25-14 〒116-0003
税理士法人荻野会計事務所内

TEL : 03-3803-2328

FAX : 3805-2069